



「クルーズ客船を活用した観光客の誘致」について（平成 22 年 12 月）

航路を活用した観光振興について

2) 「本県各地に寄港するクルーズ客船を活用した観光客の誘致」についてお尋ねします。

10 月 15 日に、徳山港にクルーズ船「にっぽん丸」が入港し、私も歓迎式典に出席させていただきました。「にっぽん丸」は、今年 3 月に全面リニューアルしたばかりで、22,472 トン、全長 167m、全幅 24m、客室は 202 室を有する豪華客船です。

今回の寄港は、地元の徳山商工会議所や徳山港振興会の皆様のご尽力により実現したもので、徳山港では、約 400 人の方が乗船され、種子島へ 2 泊 3 日の往復クルーズの旅に出発されました。

「にっぽん丸」は、熟年世代の旅行需要の高まりを背景に、多くの観光客を乗せて、全国各地を航行しており、本県には、これまで、徳山港のほか、岩国港や下関港などに寄港実績があります。

また、県外では、NHK の大河ドラマ「龍馬伝」の主人公、坂本龍馬の地元である高知県が、積極的な誘致に取り組んだ結果、昨年の 11 回から、今年は 15 回と、寄港数が増え、観光振興にも大きな成果が表れていると聞いております。

私は、このようなクルーズ客船が、全国の港から山口県へ観光客を運んでくるようになれば、三千万人構想の実現にも貢献しますので、是非、積極的な取り組みを進めていただきたいと考えております。

そこで、クルーズ船を利用した誘客に向けて、今後どのように取り組まれるのか、お尋ねいたします。

〔山部地域振興部長答弁〕

国内クルーズの周遊コースが多様化する中で、本県においても、クルーズ船の誘致に積極的に取り組んでおり、今年度の大型クルーズ船の寄港回数は、本県発着のチャーター・クルーズが5回、周遊のための寄港は6回、計11回となっております。

クルーズ船の誘致は、寄港の際の物資の調達や、乗船客の県内周遊観光等を通じて、地域経済の活性化に大きく寄与するものであります。

このため、地元の市や振興組織と連携して、船会社を訪問し、県内の魅力ある観光・物産の紹介や、モデル周遊ルートの提案を行うとともに、クルーズ船が寄港した際の歓迎セレモニーや観光案内サービスなど、お客様を温かくお迎えすることにより、今後とも、寄港地としての本県の魅力をしっかりとアピールしていきたいと考えております。

こうした国内クルーズ船の誘致に加え、日韓海峡沿岸地域の福岡県、佐賀県、長崎県と連携し、韓国側の4市道と協働して、中国からのクルーズ船の誘致にも取り組みます。

今後とも、クルーズ船の寄港地に適した港湾施設や魅力的な周遊観光地に恵まれた本県の特性を生かし、クルーズ船を活用した一層の観光客の誘致を進めてまいります。